

災害地を巡りて

内務技師 三浦七郎

まないが破壊は高速度で増しつゝある、何時になつたら此の災厄から免れることが出来るだらうと心細くなる。

天惠貧薄にして領土狭小なる我國も災害を蒙ることに於ては世界に冠たるものがある。關東の大地震に引續き北丹の災害があつた。水力電氣に利用するには詭向きの急流の河川が到る處にあるが一端洪水に際會するに河岸の缺潰、農耕地の氾濫に伴ふものが大部分である。最近十ヶ年の統計に依れば復舊費及諸損耗費の計は一ヶ年平均五千九百萬圓に上るも財政難の我國ではオイソレミ總ての河川を改修

する譯には行かない、従て毎年國は災害復舊工事の補助として數百萬圓の支出を餘儀なくされてゐる、建設は仲々進

災害といへば常に内務省から査定官が派遣される、以前は總ての箇所を視たので一縣に數週間を要し災害の多い年は其の秋から翌年の春まで南船北馬の旅をしたものだが、近來は査定方針も改正されて大體災害個所の四割位を實査するのだから大分樂になつた、其の上に自動車が現はれて一日に二十里位去るのは何でもないので査定日数は著しく短縮した。

十年前までの査定は峻烈を極め法規を楯に毫も假借しなかつたので殆んど改良工事は認められなかつた、然し其の

後の成績に徴するに原形復舊に止めた所は賽の河原と同様に再度の災害を蒙つた所が多い、或る工法で壊はされた所に原形復舊を云つて以前と同じ工法を用ひたなら再び壊されるのは自明の理である、例へ工費は増嵩しても其處に一つの工夫を試みるのが妥當であらう、當時の人は既に内務省を去り新人が入れ替つたので査定方針もこゝに一轉機を劃するに至つた。然し未だ十分まではいかない、規定がある以上は其の規定に違反せざる程度に於て解辭を廣義にする外に仕方がない、現在は夫に我慢するにしても何れは根本的に時代に適應するやう改正する時機が近く來るだらうと思ふ。

工事にもこんな立派なものがあるといふことを見て貰ひ度いこの熱心な勸誘を萩原技師に受けたので、中間検査を兼ねて二月二十七日から神奈川、静岡兩縣に出掛け、一號國道の宮ノ下箱根間は震害復舊で三間以上に改良され勾配も不分明くなつたが屈曲部の改良が充分でないのミ、法の崩壊土が路面に落ちるのは實に遺憾の點つた、天下の險ミ謳はれた箱根舊道も今は昔の面影を偲ぶに由ないことになつたから、富士屋の自動車を始めとして自動車交通は激増した、夫には屈曲部見誘し不充分の個所が多い。

名勝地の少い東京附近に於ては雄大な景色の箱根、蒼波満々として鏡の如き蘆ノ湖は共に遊覽客を樂ましむるに申分ない、近時外人のドライブするもの激増する傾向にあるから國際的の道路としてなぜ今少し思ひ切つて改良せなかつたかミ遺憾に思ふ。

何時も災害工事に悪口を言ふので其の災害補助でやつた

箱根町から縣界を越えて三島に至る間は震災前既に國道改良工事として八九分通の進捗を見てゐた所にあの地震で大破を蒙つた、殊に静岡縣側は路面が悪くて到底自動車を

通すること出来なかつたが、震害復舊でマカダム式をなした
 ので今は定期自動車が行く位に良くなつた。以前は靜
 岡縣側の道路が神奈川縣側に比し随分劣りがしたが現在
 は其の反對の現象を呈してゐる、地勢の影響する所少くな
 いが一つは修理の不完全なる結果だらう。國道改良の手始
 めとして設計にも慎重の考慮を拂ひ多額の工費を投じた道
 路で而も靜神兩縣を連絡する樞要の關門であるから、維持
 にももう少し力を入れて貰ひ度い所だ。

特二號國道の長尾峠を通るものは一號國道に比べて大分
 遜色がある未だ近代的道路としての改良を加へてないので
 融雪時ではあつたが自動車々輪が路面深く喰ひ込んで非常
 な難儀をした、災害で補理を加へた箇所もあるが路面の状
 態には尙幾多の缺陷がある。長尾峠から長い下り坂を降り
 きたつた所に亞米利加村がある之より御殿場に至る間は幅員
 も四間以上で直線道路が出来てゐる、今より十五六年前内
 務省の小引技師未だ靜岡縣在勤中設計施工せし由にて、當
 時としては全く出色の考案になりしものこ譚辭を呈するに

躊躇しない、現代の自動車道路にしても毫も恥しくない出
 來案である。設計の任に當るものが皆斯の如き先見の明を
 以てやつて貰つたら土木事業の進歩又顯著なるものあるだ
 らう。

○

修善寺伊東間（縣道伊東大仁線）には二間乃至二間半の
 道路があつて自動車を通つてはるるが伊豆半島の地廻りの
 道としては早晩幅員擴張の必要に迫られるならん。東京熱
 海間は鐵道電化の爲め大分時間が短縮された。熱海は避寒
 地として夏は又海水浴地として好適の地なるのみならず、
 附近一帶の海岸は丘岡起伏して波の洗ふに委せ海は蒼く山
 は翠に各々自然の美を競ひ、日落つれば漁火點々として波
 間に明没し月に囁く笛の音に詩人ならずも詩的な感じ胸
 に満ちて來る處である、この自然の懷に抱かれて潮の香に
 息づく時、人は自然と同化し去つて松の緒琴の調べも涙を
 催さしむるので金色夜叉が生れたのであらう。かゝる風光

明媚の海岸に温泉まで湧き出つるので温河原、熱海、修善寺は好個の遊散地として益々發展するに相違ないから、伊豆半島の遊覽道路には近代施設を爲すの必要がある。

伊東熱海間は十八ヶ年繼續で九尺に改良工事を施してゐた時幸にも關東大震災に遭遇したので、震害補助を受けて三間に改築した、地震の爲害を受けなかつた殘餘の區間も大正十四年の災害に罹り國庫補助を受け同様の幅員に擴築した、全線を通じて全く愉快な道路になつてゐる、之が萩原技師の得意の道路で災害補助工事にも斯様な立派な出來榮えがあるこ鼻高々である。査定の際舊道が九尺であつたから規定に従へば當然九尺になる可き筈のを三間に査定した所に萩原君の明敏な頭が働いたことを感謝する。其の理由としては此の海岸一帯の地質に崩潰が多い、従つて九尺其儘に置けば法の崩壞で交通危険なるのみならず路面には直ちに崩土が堆積して交通杜絶するこは逆睹するに難くない。依つて九尺の外側に九尺の道路を擴築するこが妥當だと認めたのである、此の豫想は命中して現に澤山の崩

土があるに拘らず道幅が十八尺になつてゐる爲め何等交通に支障を來さない。餘裕ある査定が此處に効果を現はしたものこ總ての人が満足に思ふ。

海岸道路は斷崖が直ちに迫るので窮窟な線形である、屈曲部にも幅員を擴大してないから多少自動車交通に危険の個所があるので、目下バス營業中の東海自動車會社自身で危険信號標を樹てゐる、大分貧弱なもので内務省の規定にも該當しない形である、苟も縣道であり遊覽個所である以上は縣では等の施設を爲す可き義務があるだらう。先年規定された内務省の道路標識が未だに普及されないので殘念に思ふ。

湯河原から小田原に行く間は震災の當時一村全滅した根府川を始め被害の度最も激甚を極めし地方であつた、道路も家も共に海中に押し出されて形も見えなかつた悲慘の狀態を追想すれば全く今昔の感に堪へない位立派な道路が蘇

生した、海岸石垣も見事なもので先づ震害復舊としては誇るに足る工事である、只路面に餘り大きな砂利を敷いて輾壓を加へないのだから交通に難澁する、之からは田舎でも相當交通のある個所はローラー位かけて貰ひ度いものだ。

大體立派な災害復舊工事のみを視て安心した譯だが工事施工に際し監督員の不注意から間違つた仕事をした所があるので二三苦言を呈し度い、例へば混凝土を打つた後でセメントの硬化に要する水をやらなかつた。従つて混凝土は固まつて居ないから手で起しても混凝土は直に取れる云云ふ具合で何の役にも立つて居ない。砂に泥土を混じた儘使用せし疑ある所もある。是等は少しでも施工法を學んだものは必ずしも忘れてならない點である。石垣の練積に尿管がない。石垣裏に入つた水は果して何處から排出されるや。

橋桁のスライディングエンドに鐵板なごを挿入して橋臺との縁を斷たないため、桁の伸縮に伴ひ橋臺に必ず龜裂を生じてゐる、必ず絶縁物の挿入を忘れてはならない。鐵筋混

凝土床版上に水拔を設けなくて路面なるべき盛土をなしである。之も石垣の尿管の場合も同様滲透水の排き口が無いので直ちに路面に悪影響を及ぼすのみならず、混凝土内にも水が滲透して遂に鐵筋を腐蝕せしむる原因となる。

道路に側溝の設備なき所が神奈川縣に随分多い従て路面排水が完全でない。路面全幅に砂利敷をなせる個所がある、之は砂利の浪損なるから路面を除いた幅員だけに撒布すべきである。

大分此の外にも缺點があるが要するに監督の際、慎重の注意を拂つたら避け得べき缺點ばかりである。餘り工夫のみに委せないで縣の相當の技師が當時巡廻して是等の弊害を未然に防ぐ様に、又工事閑散の折を見て下級技術員や工夫を招集し最も卑近の工事に就て講習を爲すが如きは必ずしも徒爾ならずと信する。何時も高遠の理論のみに走せて施工法の如きは瑣事として顧みざるは現時の弊風である、千丈の堤も蟻の一穴より壞れるの眞理は今も昔も變りはない切に技術官の反省を促したいと思ふ。」